



デジタルアーカイブフェス2026
ジャパンサーチ連携・活用事例等

博物館連携による
デジタルアーカイブ
—「宮城の民具」の構築と活用—

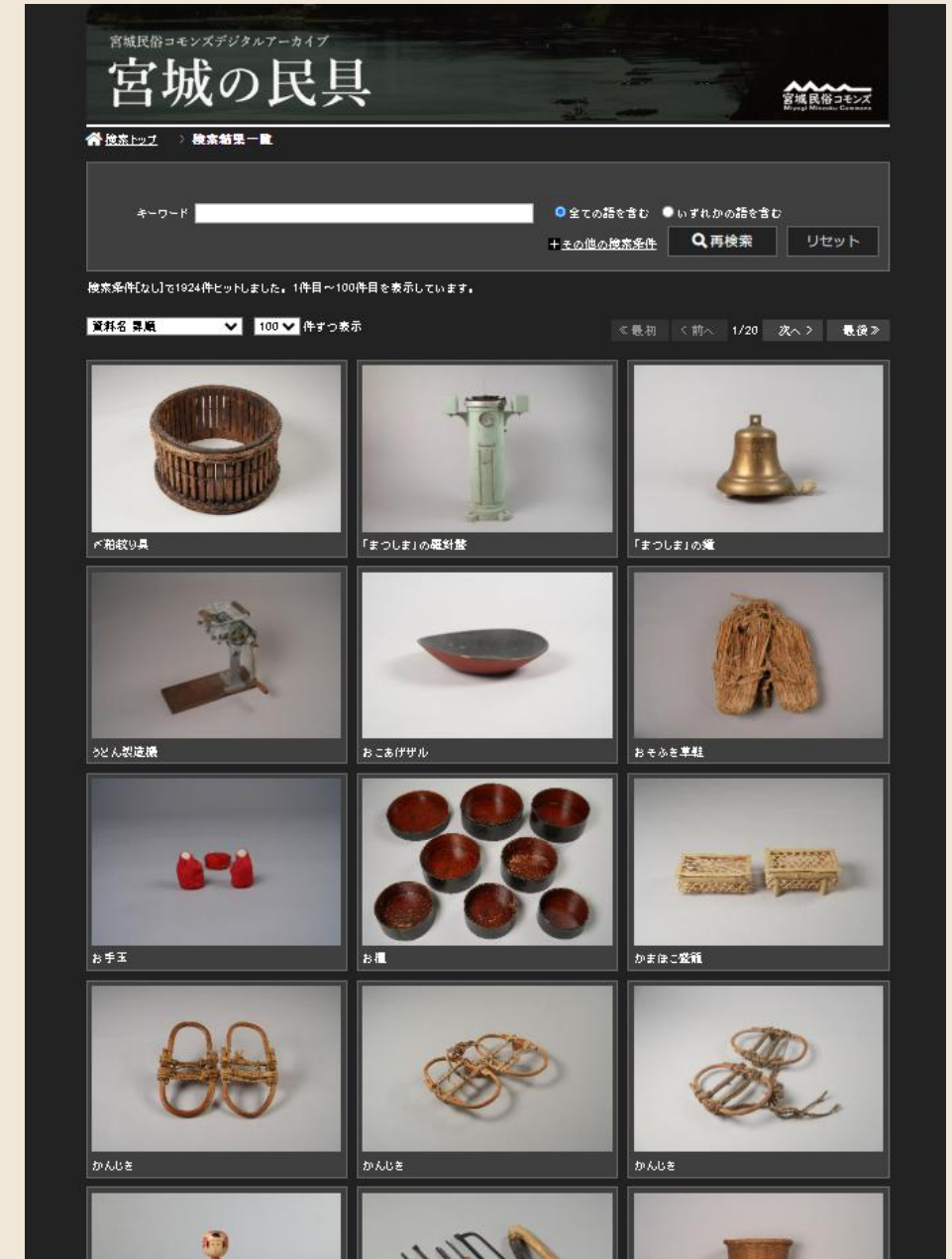
宮城県教育庁 文化財課 技師

小林 直輝

「宮城の民具」とは？

・宮城県内の自治体・博物館の民俗専門職員を中核とした連携組織「宮城民俗コモンズ」が構築する民具のデジタルアーカイブ

・R6年度に着手し、R8.8時点で1924件の民具の画像、メタデータを公開



こちらの二次元コードからご覧いただけます



宮城民俗コモンズ
デジタルアーカイブ「宮城の民具」



ジャパンサーチ上での
「宮城の民具」検索画面

構成

東北歴史博物館が事務局を務め、県内の自治体や博物館が連携して構築した「宮城の民具」。その立ち上げの背景や、工夫について紹介します。

※「宮城の民具」の詳細、宮城民俗コモンズの各種事業については、

小林直輝・今井雅之2026「ネットワークで民具を守る
—宮城民俗コモンズの取り組み—」
『民具マンスリー』59巻4・5号

もご参照ください。



民具の“価値”？

「かつて人々は、近代化により消えゆく生活を惜しむように、庶民の暮らしを記録し、その証となる“モノ”を集めました。これらは民具として、地域の資料館などで保管・展示されてきましたが、**これらが使用された当時の暮らしを知る人が少なくなった今では、その価値を広く社会と共有することが難しくなりつつあります**」（東北歴史博物館 令和7年度秋季特別展「宮城に生きる民俗」）

→ 当時を知る人以外には、「価値がない」ものなのか？

民俗学徒の思い—私の場合—

「民具（民俗）を通して、私たちは現代社会とは異なる「人と自然」、「人と人」「人と神様・仏様」との関係を知ることができる。民具は**今の生き方を見つめ直すきっかけ**を与えてくれる」



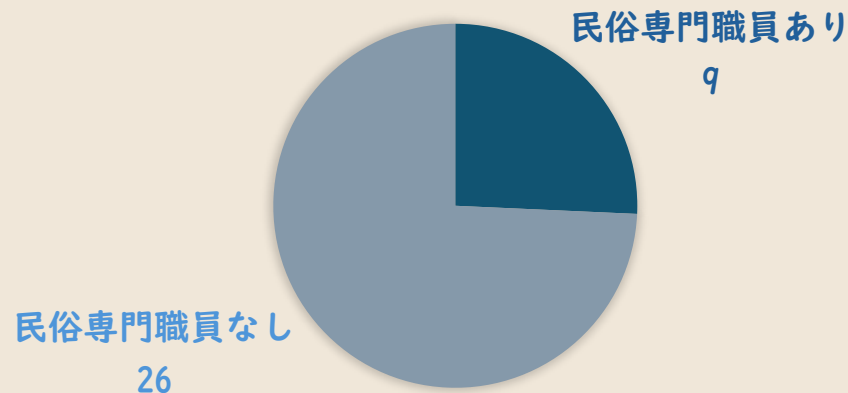
宮城県内民俗資料（民具）の現状と課題

1つの「ある」と5つの「ない」

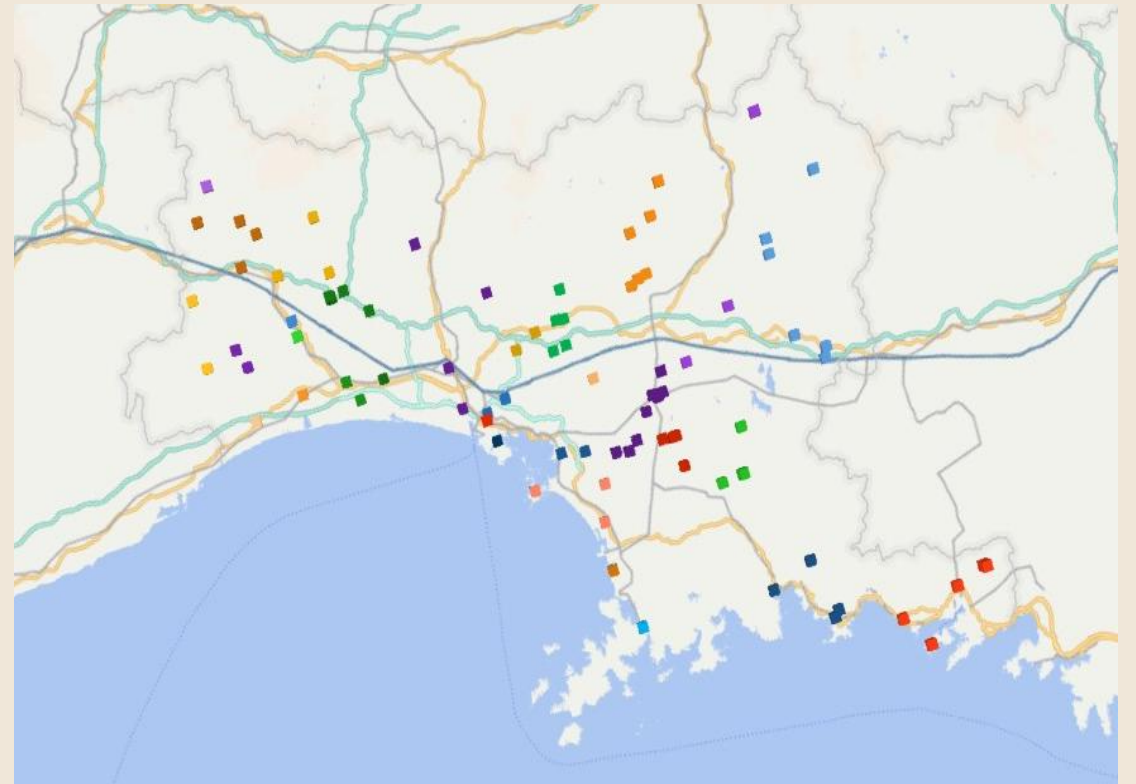
【あるもの】 膨大な数の民俗資料

- ・所蔵件数・・・**213,706件** 以上
- ・所蔵箇所・・・96ヶ所 以上

【ないもの】 **人・モノ・知識**・時間・カネ



民俗専門職員のいる自治体



県内民俗資料の収蔵場所

課題解決の方法

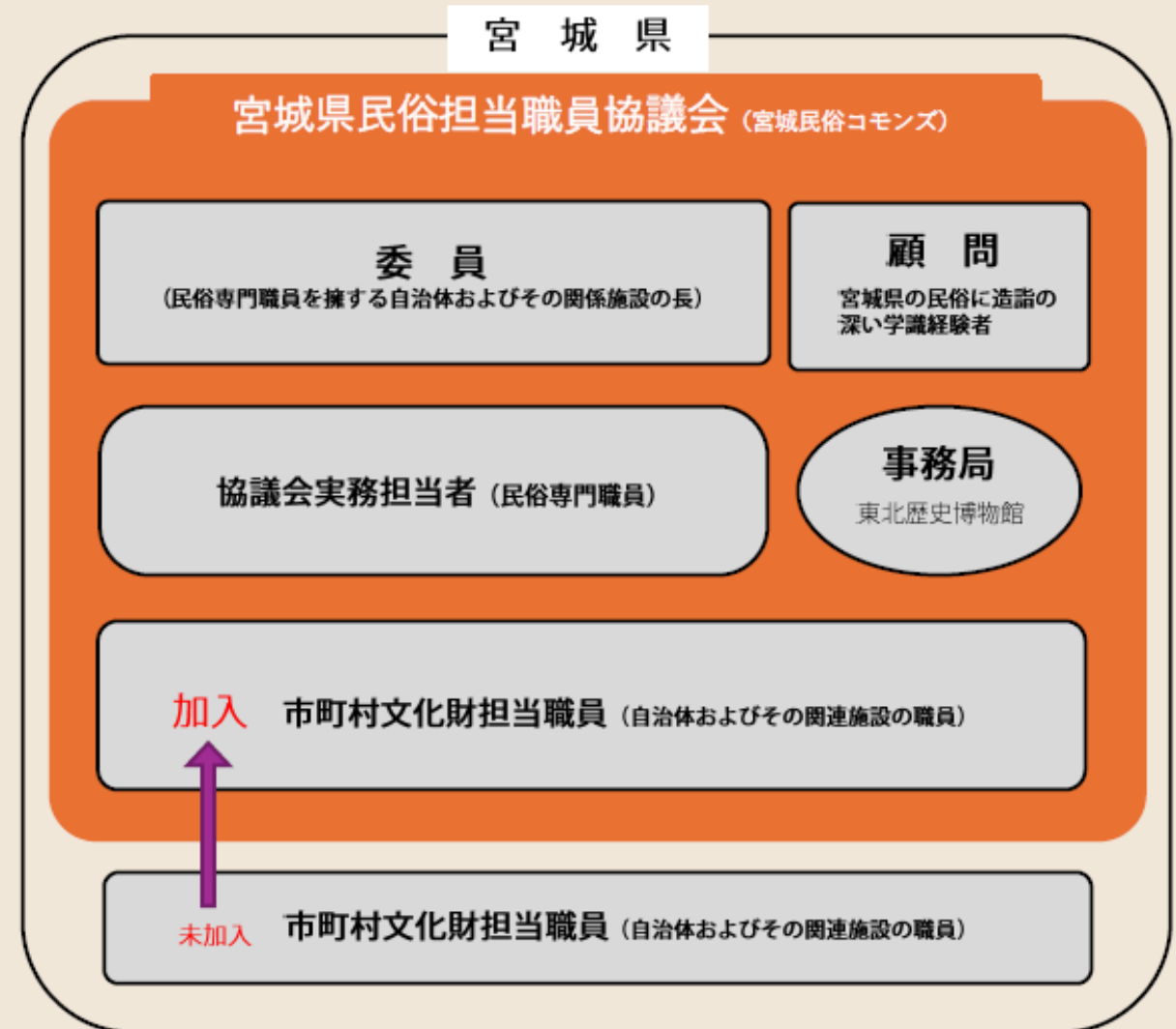
自治体の壁・文化財主管課と博物館の壁 を越えたネットワークの形成



→人・モノ・知識を共有（**コモンズ化**）しよう!!

「宮城民俗コモンズ」の立ち上げ

- ・ 正式名称
「宮城県民俗担当職員協議会」
- ・ 令和5年に県内各地の民俗専門職員に声掛け
- ・ 令和6年度に発足
- ・ 「宮城県内に存する民俗資料について、所属の枠を超えて調査研究することで新たな価値を発見し、その成果を広く社会に還元する」



民俗コモンズとしてデジタルアーカイブ を立ち上げる意義

①民具の魅力に手軽に触れてもらうことができる

→時間・空間的な制約の解消を目指す

②県内自治体・博物館の民具の画像や情報（用途や大きさなど）

が共通の方針に則って1つのデジタルアーカイブに集積する

→利用者にとっても便利？

資料情報の集積により、比較研究の端緒となりうる

「宮城の民具」をひらく

①作る人にひらく

（写真の質を維持しながら）アーカイブ構築に関わりやすい方法を模索

→多数の自治体・博物館と協働できる形を！

②使う人にひらく

民具の魅力を深掘りできるアーカイブの形を模索

写真の利活用を促進する形を模索

→より多くの人に民具の価値を伝えられる形を！

作る人にひらく

- ・「宮城の民具」上の画像の多くが、**会計年度任用職員による撮影**
- ・同一の撮影機材の用意
→カメラ、照明、背景紙など
- ・撮影マニュアルの整備
- ・撮影講習の実施



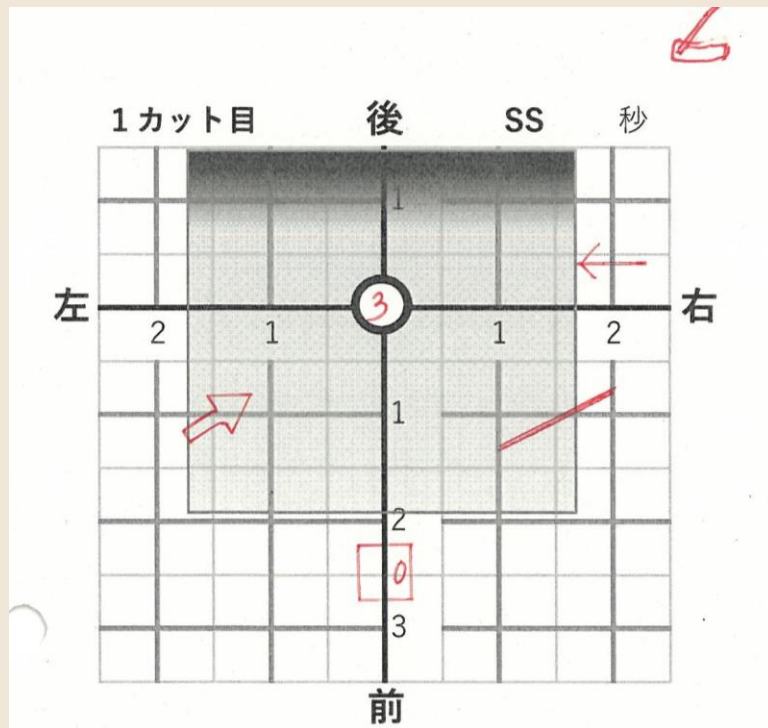
作る人にひらく

・プロのカメラマンによる
各自治体・博物館での撮影
→プロの撮り方（ライトの
当て方やアングル）を「**お
手本**」として**学ぶ**機会に



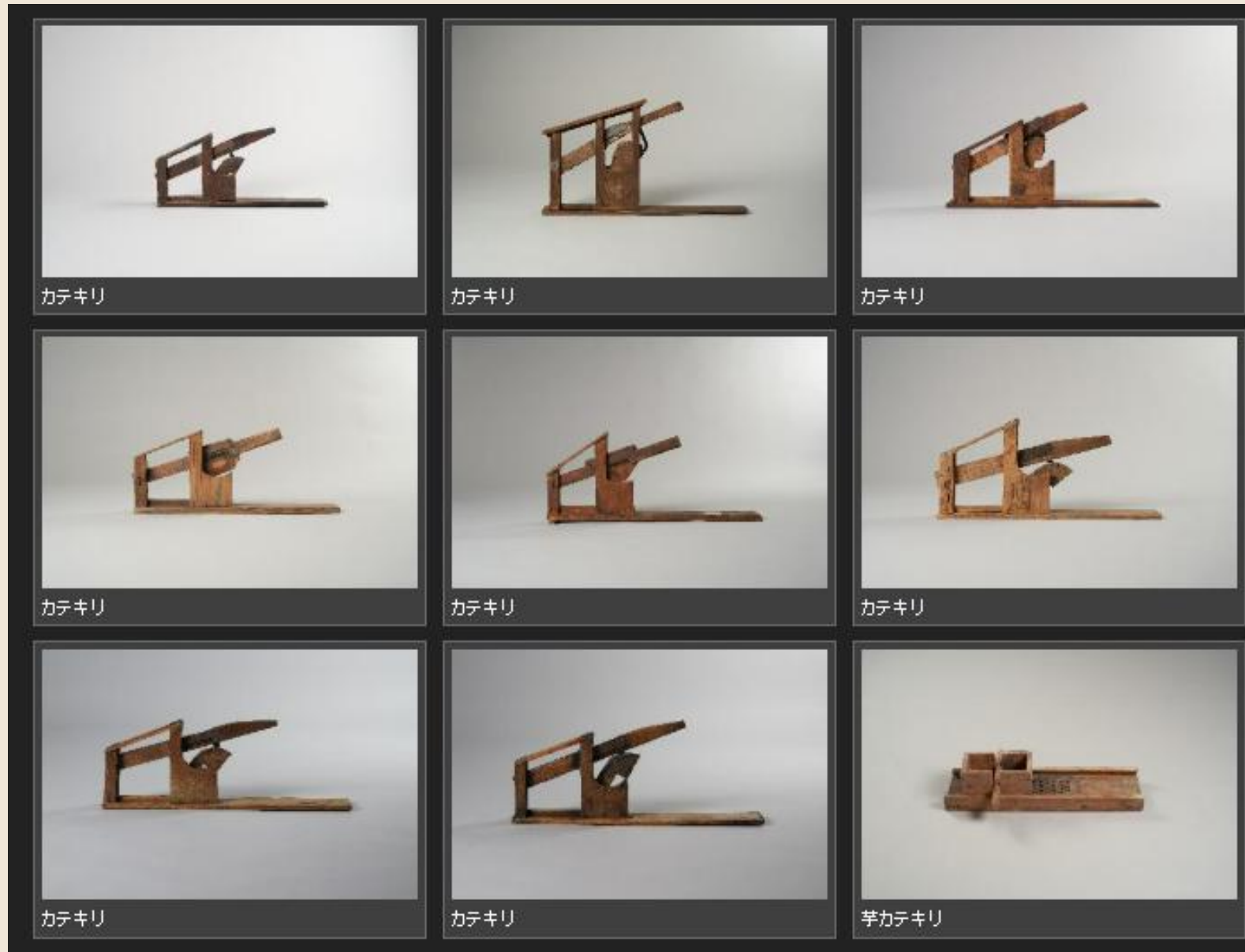
作る人にひらく

- ・ 撮影基準表の作成
- プロの撮影を「お手本」にしやすい形に！



所蔵：名取市歴史民俗資料館

- ・ 基準表に沿うことで、質の高い写真の撮影が可能に



使う人に「魅力深掘りへの道」をひらく

民具を「魅せる」写真も！

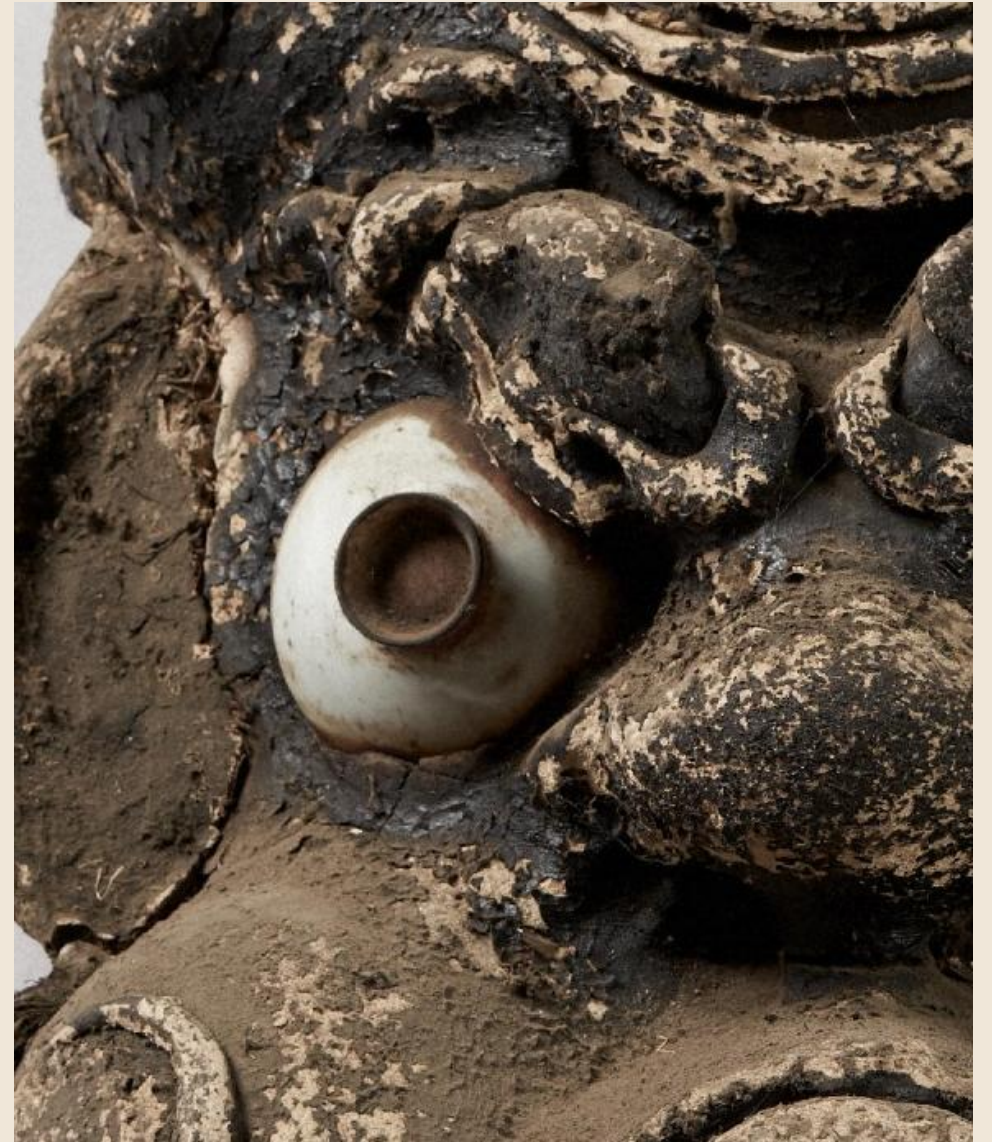


「車馬鋤」 所蔵：名取市歴史民俗資料館

高精細な画像が閲覧できる！



「カマ神」 所蔵：東北歴史博物館

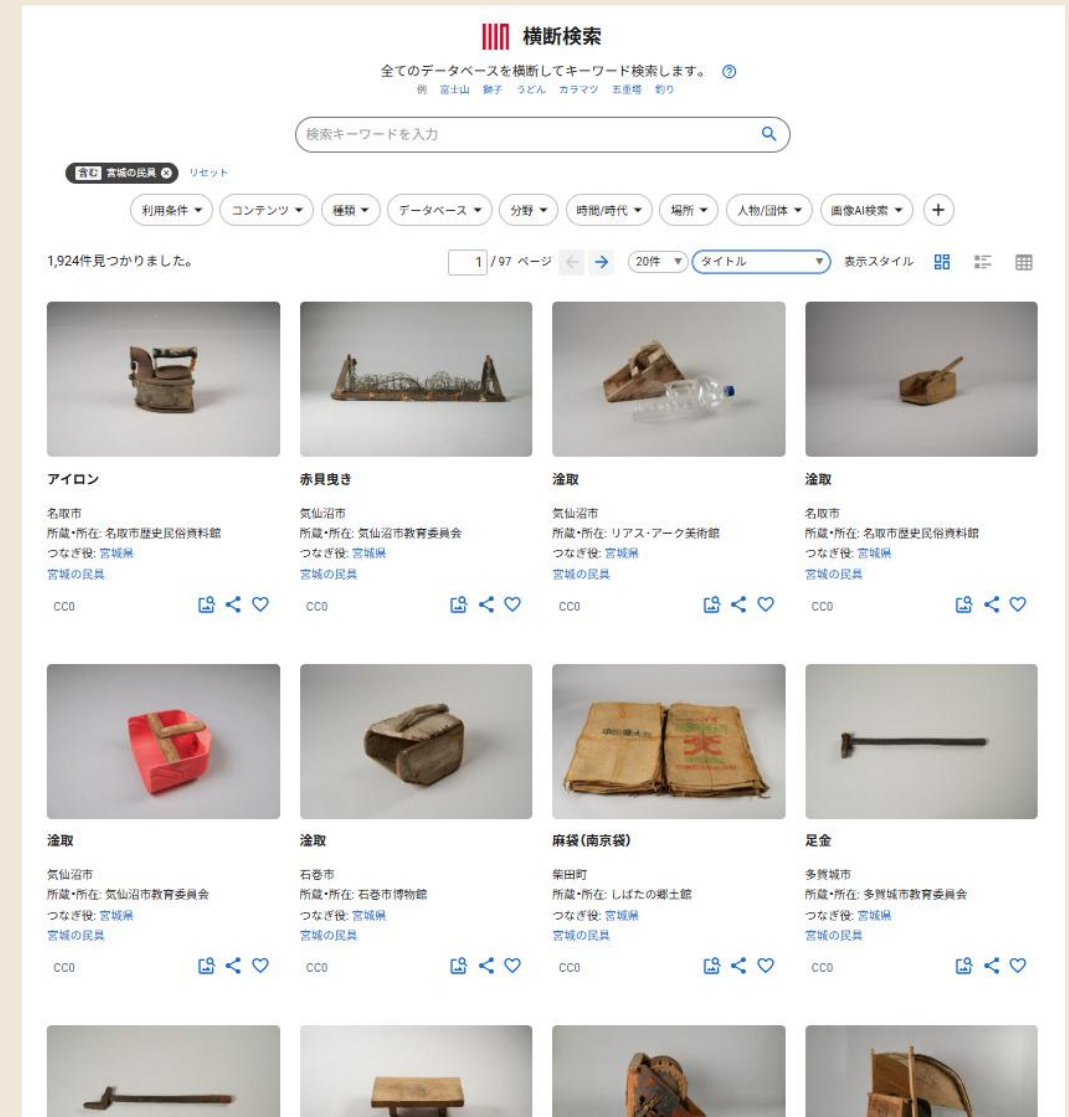


使う人に「利活用への道」をひらく

- ・すべての写真に**クリエイティブ・コモンズ・ライセンス**を付与
「CCライセンスとはインターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という**意思表示をするためのツール**です」
(クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとは | クリエイティブ・コモンズ・ジャパン)
- ・ほとんどの写真を**CC0**（いかなる権利も保有しない）で公開
現に、この講演資料で大いに写真を利用させてもらっています！

使う人に「民具との出会いの場」をひらく

- ・ R8.3にジャパンサーチと連携
- ・ 「宮城の民具」にアクセスしない人にとって、「民具との出会いの場」となることを期待



「宮城の民具」を広げる—今後の展望—

- ・ 未実施を含む自治体・博物館での撮影、アーカイブの拡充
 - ・ 「宮城の民具」を活用した、学校教育との連携やウェブ展覧会などの実施
 - ・ 「宮城の民具」を活用した、民具の比較研究の深化
- 民具のさらなる価値の発掘、社会との共有！

ご清聴ありがとうございました



ご質問よろしくお願ひします！